

# 日本の交通ルール予習



浜松市内外の企業や外国人支援の専門家らが、トラックなどの運転手として日本での就労を目指すインドネシア人を支援するプロジェクトを進めている。来日する前に現地で日本の交通ルールを学ぶ仕組みを整えるなど、きめ細かな支援体制づくりを目指す。

プロジェクトには、特定行政書士の宇佐美陽子さん、静岡県セイブ自動車学校（浜松市中央区）、同校とインドネシア人の運転免許取得支援で協定を結んだ現地の自動車学校、LPGガス販売のエネジン（同区）な

インドネシアの関係者とオンラインで打ち合わせをする宇佐美陽子さん（前列中央）らメンバー＝浜松市中央区で

## 浜松の専門家ら インドネシア人の就労支援

ど5社が参加している。

具体的な支援策として、現地自動車学校が日本の交通ルールを学べるコースを設ける予定。セイブ自動車学校はインドネシア語と日本語の対訳教本を導入した。宇佐美さんは国内の受け入れ先とインドネシア人の仲介や、ビザ申請の支援を行う。エネジンは居住先探しを手助けする。

自動車運送業分野での外国人ドライバーは、人手不足を補うために外国人材を受け入れる「特定技能制度」の対象となることが昨年3月に決まり、増加すると予想されている。

プロジェクトの発起人となった宇佐美さんは「企業がチームを組み、外国人の就職を支援するモデルケースになってほしい」と話す。セイブ自動車学校の早川智文常務は「プロジェクトが顧客層を広げるきっかけになれば」と期待する。

（鈴木みのり）